

ひと ひと

女と男の情報紙

笑がお



息子の笑顔

息子が結婚をしました。
結婚式で、私たちへの記念品として贈られたのは1冊の写真集でした。
その写真集には、懐かしい過去の思い出が詰まっていました。
息子の生後まもない写真、歩き始めた第1歩、裸で水浴びしている姿など、
幼稚園から大学まで、様々な場所で、家族や友人などと一緒に写っている笑顔の写真でした。

このような言葉が、英語で記されていました。
この写真集をつくりながら、自分の育った記憶を思い出しました。
そのほとんどを憶えているとはいえませんが、ひとつのことに気付きました。
写真の中の僕はとても楽しそうに笑っている。
それはあなたの愛に包まれていたからでしょう。そのことに感謝します。」
日本語ではあまりにも気恥ずかしかったのだと、母は解釈しました。
どんな高価なプレゼントより、すごくうれしい言葉でした。
子育ては大変でした。子どもと一緒に泣きたいときも多くありました。
でも、楽しく、幸せを感じさせてくれました。
ワーワー泣きながら母の胸に飛び込んできた息子が、
ほっとしたように泣き顔から笑顔に変わるとき母は無上の喜びを感じました。

幼い頃の光を放つような子どもの笑顔は、記憶の中でいつまでも輝いて
心にほんわかと幸せ感を残しているのだと感じました。

みんなが笑顔でいられるために……

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか？

イキイキ笑顔人

自分らしく
輝いている人見つけた。



ファイルNo.10：母：鈴木京子さん 娘：吉田 恵さん

プロフィール：京子(母)さんは、宮城県出身。恵(娘)さんが2歳の時に吉川市に転居してきた。京子(母)さんの趣味はガーデニング、恵(娘)さんの趣味はピアノ。

母と娘の二人でスタート

母：喫茶店「ベル」を開店させたのは2004年の11月です。それまで勤めていた会社を辞め、転居を機会に1階を店舗にした自宅を建てました。何か自分のペースでできる仕事を始めたいという考えから、それなら若い頃から好きで通っていた喫茶店を開こうと計画し、それから3カ月で開店にこぎつけました。仕事のパートナーとして娘の協力が得られたことが、大きな力になりました。

娘：学校を出てから、いくつかの職場を体験しましたが、下っ端では仕事を任せてもらえず、やりがいが少ない。そんな不満を感じていた頃、母から「一緒に喫茶店をやらない？」と誘われたんです。自分の考えや工夫が活かせる喫茶店経営に、俄然ファイトが湧きました。

美味しさにこだわった手作りケーキ

母：私自身、コーヒーが大好きなんです。ですからお客様にも、美味しいコーヒーを優雅なカップでたっぷりと味わっていただこうと、毎回心をこめて淹れています。カップは以前から買いためていたものを使っています。食器類や、イタリア調の家具、テラスのバラなど、自分の好みのものを集めたら、こんな雰囲気のお店になってしまいました(笑)。

娘：美味しさへのこだわりから、ケーキは手作りのものを出しています。既成のケーキをいくつも試食した結果、やはり手作りのケーキが一番美味しいと確信しました。仕込みは夜遅くまでかかりますが、誰かに喜んでもらうケーキを焼くって、とても幸せ感があるんですよ(笑)。

お客様の笑顔に会えるから

美味しいコーヒーと手作りケーキの店を 母娘で続けています

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな……。ゆったりとした時間が流れる『カフェ ベル』。お客様との会話も楽しげなオーナーの京子さん、恵さんの母娘にイキイキ「笑顔」のわけを語っていただきました。

お客様の笑顔に出会える喜び

娘：お客様には是非、ゆっくりと寛いでいただきたいですね。早く帰らないでいただきたい(笑)。店をやって一番良かったことは、お客様の笑顔に出会えることです。性別や年齢、職種等を飛び越えて、いろいろな方と話ができるから、面白い新しい発見もある。店をやっていなかったら、絶対できない体験だと思っています。

母：地元で溶け込んだ息の長い店でいたいですね。いつ訪れても変わらない、ほっとした気分になれる喫茶店。「こんなところに、ちょっといい店……」って、感じてもらえたら尚いい。住宅街にお店を開いたのも、そんな願いがあったからなのです。

おかげさまで、開店以来お客様のご要望に応えるうちに、コンサートや、編物教室など、ベルの空間を利用した様々なイベントが実現しました。これからもお客様の自宅の居間のような感覚で利用していただければ、こんなに嬉しいことはありません。

カフェ ベル

吉川市吉川 550-6 <茂幼稚園 並び>

TEL 048-984-3390

営業時間：10:00~20:00 定休：月曜日



09.男女共同参画推進市民企画事業

NPO法人よしかわ幼児教室おひさま園

「自分らしく生きるとは

あなたのところが語るもの」

2月15日(月)午前10時から吉川市民交流センターおあしす多目的ホールにて、NPO法人よしかわ幼児教室おひさま園による市民企画事業が開催され、約70名が参加しました。

東京ユング研究会KS相談会カウンセラーとして活躍する早乙女紀代美さんを講師に招いたこの講演会で、早乙女さんは、自分らしく生きることや自分の心を変えることによって生き方が変えられると講演。説得力のある講演内容とテンポのよい語り口で観客を魅了しました。



学校へ行かない子を持つ親の会

「11/8 不登校の子から学ぶこと」

「12/19 自由に生きるということ」

11月と12月の2日間にわたり吉川市民交流センターおあしすに於いて、学校へ行かない子を持つ親の会による市民企画事業「不登校の子から学ぶこと」「自由に生きるということ」が開催されました。

第1回目の講座は、「不登校の子から学ぶこと」と題して、千葉県柏市のフリースクール「ゆうび小さな学園」代表の内堀照夫さんによる講演と意見交換がありました。講演では、子どもの心をどう理解しどう向き合うかが話され、意見交換では、参加者から自分の体験など活発な発言が寄せられました。

2回目は、「自由に生きるということ」と題し、千葉県松戸市のフリースペース「ひだまり」代表鹿又克之さんのお話を聞きました。不登校の子どもを長年見てきた経験から、親がひとりの人間としてその人らしく生きることや、人づくり、親子づくりがとても大切であるという話に、参加者の多くがうなずいていました。

(*市民企画事業の内容は裏面を参照してください。)

ひとりで悩まないで

女性総合相談

夫婦のこと 家庭のこと 仕事のこと そしてあなた自身のこと

ひとりで抱えきれないことはありませんか

開催日 毎月第2・4月曜日 (祝日の場合は翌日)

時間 午後1時～4時 (1相談50分)

場所 おあしす1階 ミーティングルーム

★専門の女性相談員が相談に応じます

★相談は無料・予約制ですので、事前に予約してください。

予約・問合せ先 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当 電話 982-9685(直通)

D V 防 止 フ ォ ー ラ ム i n 吉 川

ほっとけない！ DVのこと！考えよう！ 私たちにできること。

吉川市では、平成21年3月に「配偶者等からの暴力（DV）防止及び被害者支援基本計画」の策定を行い、同年6月、配偶者暴力相談支援センターを開設しました。

地域の中のDVの防止と被害に遭われた方に対する支援は、現在、どこまで進み、どんな課題があるのでしょうか。今回のフォーラムでは、参加者の皆さんとDVに対する理解を深め、地域でできることを考えてみたいと思います。DVのないまちをつくるために、一緒に考えましょう。

日時 3月23日（火）13：30～16：00（受付13：00～）

会場 市民交流センターおあしす 多目的ホール

- ・講演テーマ「DV被害経験者が語る被害の実態」 西山 さつき さん(NPO法人レジリエンス)
- ・パネルディスカッション テーマ 「DV防止と被害者支援をするために今、私たちは何ができるか！」
パネリスト 西山 さつき さん (NPO法人レジリエンス)、中村 敏子 さん (NPO法人女性のスペース「結」)
西野 栄子 さん (埼玉県配偶者暴力相談支援センター)、中村 詠子 さん (市民参加推進課長)
- 進行 丸山 薫 恵 さん (吉川市男女共同参画推進市民会議OB笑がおの会)

定員 80名 参加料無料

託児 2歳から未就学児 10名 (申込順)

申込 電話・FAX・電子メールのいずれかで市民参加推進課へお申し込みください。

男女共同参画推進市民企画事業 企画案募集！

市内で活動する団体やグループが企画した男女共同参画の理解や推進に役立つ講座・講演会等に対して、事業委託を行い、市民とともに男女共同参画社会づくりを推進する「男女共同参画推進市民企画事業」の企画案を募集します。

◎募集内容

(1) 次のテーマに沿った講座等

- | | |
|---|----------------|
| ① 女性の心とからだの健康 | ② 女性と子どもに対する暴力 |
| ③ ワーク・ライフ・バランス | ④ 女性のチャレンジ支援 |
| ⑤ 男性の子育て・介護・地域参画 | ⑥ 生き方 |
| ⑦ その他男女共同参画に関する課題解決に結びつく講座・情報紙発行など自由テーマ | |

(2) 募集数 2団体 上記に掲げたテーマの中から講座等を企画実施する。

(3) 実施時期 2010年 9月～2011年3月まで

(4) 委託金額 1団体 80,000円を限度とする。

◎応募資格・要件等について、市民参加推進課で事前にご相談のうえ、応募してください。

◎応募締切日 6月30日（水）までに市民参加推進課にご提出ください。

私たちの情報紙作成のお手伝いをいただける方を募集します。気軽に声をかけてください。

「笑顔」の写真募集！とっておきの写真を情報誌に掲載しませんか？

* 題字については、檜垣民子さんのご協力をいただきました。

発行 吉川市男女共同参画推進市民会議OB「笑がおの会」
問合せ 吉川市市民参加推進課男女共同参画・文化交流担当
〒342-8501 埼玉県吉川市吉川2-1-1
電話 048-982-9685 FAX 048-981-5682

